

海洋理工学会平成 24 年度秋季大会プログラム

期日 平成 24 年 10 月 18 日 (木) 19 日 (金)
会場 京都大学百周年時計台記念館 国際交流ホール I
(京都市左京区吉田本町 京都大学吉田キャンパス)

10 月 18 日 (木) 学会賞受賞記念講演・シンポジウム

学会賞受賞記念講演

- 10:30-11:00 H1 [堀田記念奨励賞] GPS 波浪計の係留装置点検システムの開発- 水槽試験と調査に
基づく実機構成の決定- 田中敏成 (港湾航空技術研究所)
- 11:00-11:30 H2 [論文賞] 浮遊系-底生系結合生態系モデルを用いた有明海での貧酸素水塊形成機構
の支配要因の解析 永尾謙太郎 (いであ)

昼休み (11:00-13:00)

シンポジウム 「流れの計測の課題」

- 13:00-13:05 主旨説明 中田喜三郎 (海洋理工学会会長)
- 13:05-13:45 S1 [顕功賞] 電磁流速計の原理と特性 小梨昭一郎 (JFE アドバンテック)
- 13:45-14:15 S2 流向流速計測における課題 中田喜三郎 (名城大院)
- 14:15-14:30 休憩
- 14:30-15:00 S3 ADCP データの品質管理処理 鴨志田隆 (アクアサウンド)
- 15:00-15:30 S4 流速計進歩の歴史 鈴木重教 (鶴見精機)
- 15:30-16:00 S5 海洋調査の現場から流速測定 of 困難さを考える 森重輝政 (東京久栄)
- 16:00-16:30 総合討論

17:30-19:00 イブニングセッション (京都大学吉田南構内 吉田食堂 2F)

10 月 19 日 (金) 一般講演

9:30-11:30 一般講演 1 「海洋生物」 座長 荒井修亮 (京大院)

- A01 動画解析技術を用いた動物認知に関する研究 -アオウミガメの首振り運動と滞在環境の関係-
○中島佳奈 (京大院情報) 奥山隼一 (NOAA/NMFS) 松井研太 (京大院工) 近藤一晃 (京大院メディア)
小泉敬寛 (京大院工) 中村裕一 (京大院メディア) 和田彩奈・荒井修亮 (京大院情報)
- A02 超音波加速度発信機による魚類の活動量測定
○吉田奈緒・三田村啓理・荒井修亮 (京大院情報)
- A03 イルカ鳴音のプレイバック実験のためのイルカスピーカー
○三島由夏、宮本佳則 (海洋大院)、笹倉豊喜 (フュージョン)
- A04 音響情報による小型鯨類の簡便な種分離手法の確立とその応用
○亀山紗穂 (京大院情報) Ayhan Dede・Ayaka Amaha Öztürk・赤松友成 (水研セ水工研, JST CREST)
Arda M. Tonay・Bayram Öztürk (イスタンブール大学) 荒井修亮 (京大院情報)

A05 極域水棲生物用水中音録音装置の開発

○ 新家富雄・笹倉豊喜（アクアサウンド）・三谷曜子（北大）

A06 動物プランクトン現存量測定の完全自動化への課題

○ 秋葉龍郎（産総研）

昼休み（11:00-13:00）

13:00-14:40 一般講演 2「海洋環境」 座長 植田真司（環境科学技術研究所）

A07 東シナ海の流動と堆積物輸送の特性 ○叶 灵娜・田口浩一（長崎大）

A08 海洋深層への熱入力による湧昇に関する基礎的検討 佐藤慎一 ○多部田茂・尾崎雅彦（東大）

A09 生態系モデル ○竹内一浩（いであ）

A10 伊勢湾水質に関する一考察 ○中田喜三郎（名城大）・大野創介（水研セ東北水研）

A11 IODP Expedition 332 および 333 実施期間に地球深部探査船「ちきゅう」で取得された多層流向流速計データの紹介

○ 栗原友和・町田秀介・小野寺拓哉（日本海洋事業）杉井昌江・下田 力（ハイドロシステム開発）
青池 寛・Moe Kyaw・宮澤泰正（海洋研究開発機構）

休憩(14:20-14:30)

15:00-16:40 一般講演 3「機器開発」 座長 月岡 哲（海洋研究開発機構）

A12 海中 3D スキャニングレーザ装置の開発

○落水秀晃・今城勝治・亀山俊平・高林幹夫・平野嘉仁（三菱電機）
斎藤 隆（三菱電機特機システム）石橋正二郎・吉田 弘（海洋研究開発機構）

A13 トライトンプイのデータ取得率の推移

○田口正樹・橋向高幸・清川賢寿・山田正樹・飯野哲治（マリンワークジャパン）
石原靖久（海洋研究開発機構）

A14 2011 年東北地方太平洋沖地震と宮城沖での海底地震計回収

○三浦 亮・森 誠一・前川拓也・菅野真人（日本海洋事業）
日野亮太（東北大）・海宝由佳（海洋研究開発機構）

A15 APG システムの運用と不具合

○ 磯貝淳之・柴田英紀・片山 健・伊藤 誠・佃 薫・渡曾勇太・田中響子・鈴木瑛江
三浦 亮・井和丸 光・久野光輝（日本海洋事業）大渡祐樹（海洋研究開発機構）

A16 CWDM（光 8 波長）通信による ROV データ通信容量の拡大

○ 山内徳保・三浦豊司・近藤友栄・重竹誠二・浅井 隆（日本海洋事業）
南部喜信・月岡 哲・山本富士夫・小椋徹也（海洋研究開発機構）